

3月2日(日) 山口達也氏を講師にお招きし、講演会を行いました
 ~令和6年度公益事業特別講演会「セカンドチャンスを目指して」~

2025年3月3日(月) 日刊県民福井 に掲載されました

アルコール依存症の体験語る

アルコール依存症を公表しているアイドルグループ「TKO KIO」の元メンバー山口達也さんが2日、福井市のアオッサで「セカンドチャンスを目指して」と題して講演した。来場した約530人を前に、自らの依存症体験を語った。

山口さんは2018年に不祥事で芸能界を去り、20年に酒を飲んでバイクを運転したとして道交法違反(酒気帯び運転)の罪で略式起訴された。その後、専門病院で依存



アルコール依存症の体験を話す山口さん。福井市のアオッサで

山口達也さん 福井で講演

「不安が全ての始まり」

症を宣告されたのを機に症状を受け止めて、断酒に励んでいる。

山口さんは「20代は仲間が増えてお酒が楽しかったが、30代半ばから家で1人で飲むようになり、記憶が飛ぶこともあった。40代は酔ったために酒を使っていた」と振り返り、「自助会での依存者との出会いを通じて、全ての始まりは不安で、自己肯定感が低かったことに気付いた」と述べた。

その上で「過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる。芸能界を去った時、自分が講演する姿は想像していなかったが、いろいろな人が自分を引き上げてくれた」と回顧。「自分の考え方が変わると人生が変わっていく。セカンドチャンスは自分でいくらかでもつくることのできる」と語りかけた。

講演会は松原病院(福井市)が主催した。(佐久間博康)

2025年3月3日(月) 福井新聞 に掲載されました

「自分と未来、変えられる」

福井で講演 社会復帰の日々語る



「セカンドチャンスを目指して」と題し講演する山口達也さん。2日、福井市のハピリン

アイドルグループ「TKO KIO」元メンバーで、アルコール依存症を公表している山口達也さん(53)の講演会(福井新聞社後援)が2日、福井市のハピリンであった。「自己肯定感が低く、自らを孤独に追いやった。心が破たんしていた」と依存症に至った心境を振り返り、助けを求めてからの社会復帰の日々を語った。「依存症を患っていても、依存から離れば普通の人間。自分と未来は変えられる」とメッセージを送った。

山口さんは2018年に不祥事で芸能界を去り、20年には酒気帯び運転で事故を起こした。現在は飲酒運転防止や依存症予防に関する資格を取得し、積極的に講演活動を行っている。今回の講演は福井市の松原病院が主催し、約400人が耳を傾けた。

山口さんは「全ての依存症は脳のコントロール障害と言われ、ひとりでも乗り越えることができない病気と認識している」とした。その上で「完治はないが、依存を止めれば心身が回復し、それに伴って人生が回復していく。それを目指している」と語った。

自身が20代の頃は「お酒が強いこと」が、ひたすら追い求めていたという。35歳あたりから自宅で記憶が飛ぶほどの1人飲みを繰り返した。おかしな飲み方をしていることにも気づかずに、自分もそう思っていたが、この頃から依存症だったと思う」と話した。

事故後に専門の病院や自助会に出会い、「依存だと自分で認めたことが(その後)の人生に大きな影響を与えた」と述べ、自身を見つめ直し、他人との比較をきりかけとする不安感が全ての始まりだと気づいたとい

アルコール依存公表 元TKO KIO山口さん

講演活動も治療の一環と紹介しつつ、「症状や背景は人によって違う。自分で処方箋を探し、自分なりの依存のやめ方を探す必要がある」と述べた。(坂下享)